



平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月13日

上場取引所 東大

上場会社名 大和冷機工業株式会社
 コード番号 6459 URL <http://www.drk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 尾崎 敦史
 (氏名) 那須 元彰

TEL 06-6767-8171

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	6,285	△4.9	1,012	△32.1	1,021	△32.1	694	△42.0
21年12月期第1四半期	6,607	—	1,491	—	1,503	—	1,196	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	13.51	—
21年12月期第1四半期	23.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	43,440	36,794	84.7	715.73
21年12月期	43,350	36,356	83.9	707.17

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 36,794百万円 21年12月期 36,356百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	13,240	△8.1	2,300	△32.9	2,360	△31.7	1,640	△36.3	31.90
通期	26,800	△8.1	4,500	△32.6	4,600	△31.6	3,100	△36.3	60.30

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 4その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期第1四半期	51,717,215株	21年12月期	51,717,215株
② 期末自己株式数	22年12月期第1四半期	309,323株	21年12月期	306,658株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年12月期第1四半期	51,409,242株	21年12月期第1四半期	51,422,512株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページの「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出の増加や政府による景気刺激策の効果など一部に改善の兆しが見られ、また、企業の設備投資も下げどまりつつあるなかで、雇用情勢は依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、主要取引業種の外食産業にあつては、長引く景気低迷から消費者の節約志向による外食控えの状況が継続し、また、食品業界や一般小売業等にあつても価格競争が続くなど引き続き厳しい経営環境にありました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高6,285百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益1,012百万円（前年同期比32.1%減）、経常利益1,021百万円（前年同期比32.1%減）、四半期純利益694百万円（前年同期比42.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて、90百万円増加し、43,440百万円となりました。この主な要因は、流動資産が現金及び預金の減少919百万円、受取手形及び売掛金の減少442百万円、リース投資資産の減少272百万円などにより1,678百万円減少し、固定資産が長期性預金の増加2,000百万円、有形固定資産の減少127百万円などにより1,768百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて347百万円減少の6,646百万円となりました。この主な要因は、流動負債が未払法人税等の減少537百万円、支払手形及び買掛金の増加116百万円などにより357百万円減少し、固定負債が引当金の増加14百万円などにより10百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて437百万円増加し36,794百万円となり、自己資本比率は84.7%となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加437百万円であります。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動により獲得した資金を上回って投資活動を行ったことにより、前連結会計年度末と比べて1,919百万円減少し21,629百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,329百万円（前年同期は2,704百万円の資金の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,019百万円、売上債権の減少379百万円、賞与引当金の増加258百万円、リース投資資産の減少272百万円などが法人税等の支払額809百万円などを上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、3,005百万円（前年同期は33百万円の資金の減少）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出3,000百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、242百万円（前年同期は2,261百万円の資金の増加）となりました。これは主に、配当金の支払額241百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月12日に発表いたしました連結業績予想から修正は行なっておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

・棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として算定しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,629,405	25,548,627
受取手形及び売掛金	2,614,826	3,057,047
リース投資資産	1,486,419	1,759,155
商品及び製品	893,315	885,173
仕掛品	229,442	217,426
原材料及び貯蔵品	260,722	241,435
点検修理用部品	250,155	248,688
その他	646,869	761,601
貸倒引当金	△26,153	△56,057
流動資産合計	30,985,005	32,663,096
固定資産		
有形固定資産	8,024,793	8,152,772
無形固定資産	94,428	102,748
投資その他の資産		
投資有価証券	89,781	87,329
その他	4,502,205	2,576,004
貸倒引当金	△255,320	△231,780
投資その他の資産合計	4,336,666	2,431,553
固定資産合計	12,455,889	10,687,073
資産合計	43,440,894	43,350,170
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,092,099	1,975,173
未払法人税等	337,799	874,813
引当金	503,811	254,065
その他	1,660,850	1,848,375
流動負債合計	4,594,560	4,952,427
固定負債		
退職給付引当金	1,077,386	1,072,520
役員退職慰労引当金	952,758	943,623
その他	22,141	25,479
固定負債合計	2,052,285	2,041,623
負債合計	6,646,845	6,994,051

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,907,039	9,907,039
資本剰余金	9,867,880	9,867,880
利益剰余金	17,188,876	16,751,238
自己株式	△175,072	△173,907
株主資本合計	36,788,723	36,352,250
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,325	3,868
評価・換算差額等合計	5,325	3,868
純資産合計	36,794,048	36,356,119
負債純資産合計	43,440,894	43,350,170

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	6,607,394	6,285,876
売上原価	2,541,414	2,830,138
売上総利益	4,065,979	3,455,737
販売費及び一般管理費	2,574,892	2,443,143
営業利益	1,491,087	1,012,593
営業外収益		
受取利息	10,583	4,920
受取配当金	272	272
スクラップ売却益	—	15,074
受取補償金	—	11,116
その他	34,484	14,972
営業外収益合計	45,339	46,355
営業外費用		
点検契約解約損	11,931	13,219
スクラップ処分費	12,902	14,352
その他	8,020	9,957
営業外費用合計	32,854	37,529
経常利益	1,503,572	1,021,419
特別利益		
固定資産売却益	—	827
貸倒引当金戻入額	1,997	2,611
特別利益合計	1,997	3,438
特別損失		
固定資産売却損	—	1,483
固定資産除却損	654	4,256
特別損失合計	654	5,740
税金等調整前四半期純利益	1,504,916	1,019,118
法人税、住民税及び事業税	301,657	313,568
法人税等調整額	6,432	10,859
法人税等合計	308,090	324,428
四半期純利益	1,196,826	694,690

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,504,916	1,019,118
減価償却費	172,018	137,499
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18,514	△6,364
賞与引当金の増減額 (△は減少)	289,131	258,831
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,800	△10,100
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△2,386	1,015
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,526	4,865
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,605	9,135
受取利息及び受取配当金	△10,855	△5,192
支払利息	743	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	656
固定資産除却損	654	4,256
売上債権の増減額 (△は増加)	1,232,554	379,203
リース投資資産の増減額 (△は増加)	440,655	272,735
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△216,915	△40,914
仕入債務の増減額 (△は減少)	△327,746	116,925
その他	△111,173	△3,141
小計	2,972,414	2,138,530
利息及び配当金の受取額	8,549	345
利息の支払額	△743	—
法人税等の支払額	△275,845	△809,658
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,704,374	1,329,217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	△3,000,000
定期預金の払戻による収入	1,000,000	—
有形固定資産の取得による支出	△25,204	△10,085
有形固定資産の売却による収入	—	1,560
無形固定資産の取得による支出	△9,265	△2,210
その他	1,222	4,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,247	△3,005,977
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,500,000	—
自己株式の取得による支出	△1,882	△1,164
配当金の支払額	△236,941	△241,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,261,175	△242,461
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,932,301	△1,919,221
現金及び現金同等物の期首残高	15,515,704	23,548,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,448,006	21,629,405

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

品目別売上高

品目		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	
		金額(千円)	構成比(%)
製品	厨房用縦型冷凍冷蔵庫	1,473,026	23.5
	店舗用縦型ショーケース	1,133,510	18.0
	横型冷凍冷蔵庫	410,951	6.5
	製氷機	581,424	9.3
	小計	3,598,913	57.3
商品	店舗設備機器	428,590	6.8
	厨房設備機器	393,457	6.3
	店舗設備工事	31,073	0.5
	小計	853,121	13.6
点検・修理		669,377	10.6
リース料収入等		1,164,463	18.5
合計		6,285,876	100.0